

2014年度第1回 エネルギー・温暖化対策小委員会 議事録

日時：2014年5月30日（金）10：00～10：30

場所：（市ヶ谷）九段校舎3階 第1会議室

（多摩）1号館（総合棟）4階 人間社会研究科演習室1

（小金井）管理棟4階 会議室

出席：施設部 相良課長、岩崎課員、浅川課員

事業室 中村課長、吉原課員

多摩事務部 岡田課長、堀内課員

小金井事務部 倉林課長、三宅主任

（株）エイチ・ユー 田中、村山、奥村、白岩

内容：

1. 2014年度前期 エネルギー・温暖化対策小委員会の委員について（資料1）

人事異動等により、4名変更あり。

施設部：浅川 HU：田中社長 多摩HU：奥村、白岩

2. 2014年度特定温室効果ガス排出量予実比較について（資料2）

配付資料は、『グリーンキャンパス創造計画書』で目標として定めている、「東京都総量削減義務に準じ、市ヶ谷・多摩キャンパスにおいて温室効果ガス基準排出量の8%削減」について、2013年度の達成状況を月別に示したものの。対上限量比が100%を超えると、8%削減目標が達成できていない状況を示す。

①市ヶ谷 年間合計で97.97%となり、目標達成。ただし1・3月未達成。

②多摩 年間合計で90.04%となり、目標達成。全ての月で達成。

③小金井 年間合計で116.24%となり、削減義務未達成。

（総括）

夏季は1年の中でもエネルギー使用量がピークとなる。温室効果ガス排出量の削減と経費節減のために、各校地で冷房使用の適正化、不要な照明の消灯、待機電力削減などを実施していただきたい。

また、2015年度からは東京都総量削減義務の目標値がさらに上乗せとなり17%削減となるので、より一層の努力が必要となるためご協力願いたい。

3. 今夏の節電について（資料3）

昨年度と同程度の節電を全学的に行う旨、5/28 常務理事会に報告した。

また、同内容を all-jimu メール配信にて全学周知を行う。

4. クールビズへの取り組みについて（資料4）

今年度も5月～10月を省エネ強化月間と位置づけ、クールビズ啓発ポスターを作成した（4/25に all-jimu 送信済）ので活用願いたい。

5. ライトダウンキャンペーンへの参加について（資料5）

例年同様、夏至と七夕に環境省ライトダウンキャンペーンに参加する。市ヶ谷でBT、大学院棟、新見附校舎の屋外サイン消灯を予定。

6. 質疑等内容

(1) (小金井) 資料3に契約電力状況が記載されているが、従前より把握している数値から変更されている。

小金井では、従前の契約電力量に合わせてデマンド制御を行っており、契約電力量の変更が知らされていないため、デマンド制御目標値を変更設定できていない。

今後、契約電力量を変更した際は、速やかに通知していただきたい。

→ (施設部) 変更を通知できていなかったのは誠に申し訳なかった。今後は速やかに通知を行う。

(2) (小金井) 2015年度からの特定温室効果ガス排出量目標が17%削減になるとのことであるが、いつの時点を基準にした数値であるのか。

→ (施設部) ある特定の期間中で連続する3年間の平均値を基準とする。

どの3年間なのかは手元に資料が無いので、後で確認する。

→ 会議終了後に確認したところ、小金井については2004・5・6の3年間の平均値が基準であった。

(3) (多摩) 資料3での記載で、①冷房使用時の室温は28℃以上とする、②各校地における電力の使用にあたっては現在の契約電力を超えないようにする、があるが、どちらを優先して厳守すべきか。

例えば、過去、市ヶ谷や小金井では契約電力を超過した月があると聞いているが、気温等状況によっては多摩も契約電力量を超えても良いか。

→ (施設部) 施設部としては契約電力量を超えて良いとは言えない。

両方を維持できるよう努めていただきたい。

→ (多摩) 契約電力量を超えないよう努めるということで理解した。

以上

環境センター	作成者
	